

7) 大阪第二飛行場（現大阪国際空港）の建設

空港の建設（大阪第二飛行場）

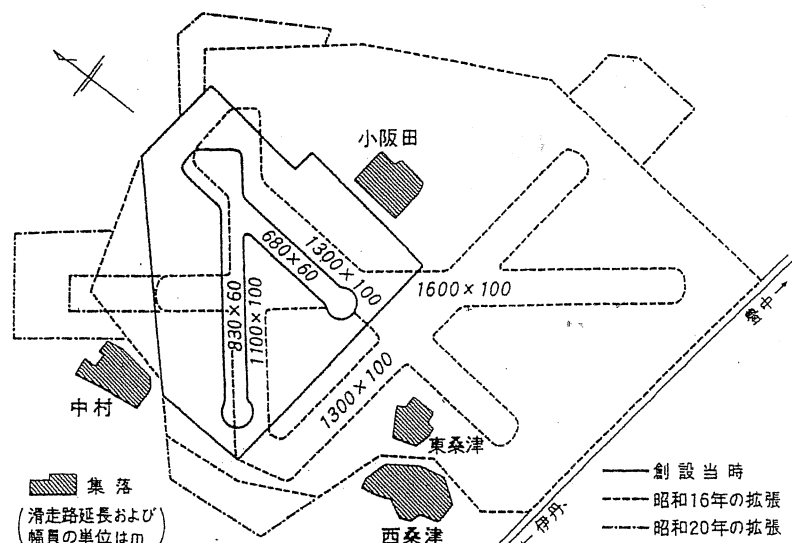
- ・昭和11年7月，神津村に空港建設のための予備調査に入る。
- ・小阪田・中村・西桑津・東桑津の4村の間に決定する。
- ・16万1千坪の用地（うち1万4千坪が池田町字北今在家）
- ・昭和11年12月9日起工式。
- ・昭和14年1月17日，大阪第二飛行場の開場式。
- ・昭和11年に着工，同14年に完成。当初の滑走路は「イの字」型。830mと680m。

空港の拡張工事（阪神国際飛行場建設）

- ・純民間空港の方針を堅持。都市防空用には大正村（現八尾市）に阪神防空飛行場を建設。
- ・開港したが，規模が小さく大型機の使用が出来ないため，昭和15年末から拡張工事が始まる。50万坪，1200mの滑走路の計画。
- ・東桑津村・小阪田村が空港拡張により解村。小阪田村52戸，東桑津村19戸。
- ・昭和15年10月28日地鎮祭。
- ・昭和16年の開戦により，軍用飛行場となる。

大阪国際空港の拡張整備

- ・昭和33年3月18日，米軍から返還。「大阪空港」に改称。
- ・昭和34年7月3日，第一種空港に指定され，「大阪国際空港」と改称。
- ・昭和37年12月5日，国が拡張工事を事業認定。
- ・岩屋・中村集落解村。
- ・昭和42年3月，拡張工事着工。同45年2月5日，B滑走路（3,000m）共用開始。



第16図 伊丹飛行場の拡張経過